時事新報

驛遞局認可

明治十八年二月十三日　金曜日

第八百九十一號　日曜日休刊

社告

東京圖書館

○時事新報前約御購讀被成下候ニ八[illegible]必ズ前金ヲ以テ御購入被成下度候又前金相切レ候ヘハ其日限リ新報ノ發送相見合セ候

○新報代價ハ郵便爲替ニ郵便切手トシテ御送附相成候共當方ニテ正ニ落手仕候節其都度書面ヲ以テ御通知ハ不申上其代リニ御送附申上候新報ノ帶封表面御名前ノ脇ニ(何月何日)ト記入仕置候間御覽可被成下候是ハ此日マデノ新報代價並ニ郵便稅トモ御拂込相成居ルニ付此日マデハ新報發送仕候ト申ス事ニ候

○郵便爲替又ハ銀行爲替等ヲ以テ時事新報代價御拂入レ被成下候節當方ノ名宛ハ(時事新報社)ト致シ郵便爲替ナレバ(東京京橋郵便本局)ニテ受取ル樣御取組被成下度候

○御住所ノ御都合ニテ郵便爲替又ハ銀行爲替等御取組被成下候儀御不便ノ御方ニ限リ時事新報代價ニ郵便稅共一錢又ハ二錢ノ郵便切手ニテ御拂入レ被成下候テ苦シカラズ候

○時事新報御購讀ノ諸君ニテ住所御移轉等ノタメ新報配達先キ御取替ヘ被成度節ハ新舊兩方ノ所番ヲ附テ御通知被成下度候

時事新報定價（日曜日バカリ休刊）

一枚金三錢○一箇月前金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓四十錢○一箇年前金六圓五十錢○東京十五區內並ニ横濱區內ニ限リ配達料無料○前記東京横濱ヲ除クノ外日本國內並ニ海外郵便聯約國（歐洲諸國等）ヘ御送ノ郵便稅ハ一箇月金廿六錢一箇年金三圓十二錢ノ割ヲ以テ前金ニテ申請候事

前金拂廣告料定則　一行二十四字迄

一行ヨリ十行迄一行ニ付一日分金八錢、十一行ヨリ三十行迄一行ニ付一日分金七錢、三十一行ヨリ五十行迄一行ニ付一日分金六錢五厘、五十一行以上何行ニテモ一行ニ付一日分金六錢、但シ六日間以上掲載ノ分ハ定價一割引、十五日間以上同斷一割五步引、三十日間以上同斷、同二割引

賞勲

○明治十八年二月九日

參議兼陸軍卿陸軍中將從三位勲一等伯爵　大山巖

伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル　グランコルドーヂ、オルイヂ　サンマウリショ　エラツアーロ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

參議兼陸軍卿議定官陸軍中將從三位勲一等伯爵　大山巖

露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル白鷲大綬章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

參議兼陸軍卿議定官陸軍中將從三位勲一等伯爵　大山巖

澳地利國兼洪葛國皇帝陛下ヨリ贈與シタル鐵冠第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

時事新報

朝鮮ニ行ク日本公使ノ人撰

朝鮮京城駐在竹添辨理公使ハ今回ノ變亂後井上大使ト共ニ歸朝シ京城ニハ近藤書記官ヲ代理公使トシテ殘シ置カレタリ世上ノ風聞ニ據レバ竹添君ハ多分再ビ任所ニ還ルコトナク其後任トシテ新公使ノ拜命アル可シト云フ其真偽ハ知ラザレドモ若シモ左樣ノコトナレバ此新任公使ノ責務ニ就テハ特ニ政府ノ注意ヲ要望スルモノナリ

抑モ政府ヨリ諸外ノ各國ヘ派遣スル公使ノ任ハ先方ノ國ノ大小強弱ニ由テ輕重アルニ非ズ其交際ノ緩急ト本國ノ之ニ關スル利害ノ大小トニ從テ公使ノ務向キニモ自カラ難易アルモノナリ今朝鮮國ト日本國トノ交際ハ如何ナルモノアリヤト尋ヌルニ我國ノ人文漸ク開キ外國ノ交際トテハ未ダ其重キヲ知ラザル所ニシテ正ニ入門ノ事ナレバ萬事一様ノ交際法ノ外ニ又思ヒモ寄ラザル[illegible]モアラン、內閣[illegible]國交際ニアルマジキ關係ノ類ハ[illegible]外交ノ正則ニ於テハ一切コレヲ謝絶シテ苦シカラヌモノニテモ情誼ニ於テ然ルヲ得ズ、彼ノ歡心ヲ得テ兩國ノ親睦ヲ維持セントスルニハ煩ヲ厭フニ遑アラズ氣長ニ交リテ漸ク之ヲ正道ニ導クコト最モ緊要ナリトス在朝鮮公使ノ事務ハ甚ダ煩雜ナリト云フ可シ

又朝鮮ハ素ヨリ獨立國ニシテ日本政府ガ之ヲ認メテ獨立視シタルノミナラズ米英獨ノ諸國ニ於テモ純然タル獨立自主ノ國トシテ對等ノ條約ヲ結ビタルコトナレバ獨リ支那政府ガ往古ノ歴史ナド再讀シテ之ヲ悅ビ其虛文ニ證シテ屬邦ノ虛名ヲ實ニセントスルノ妄想ヲ抱キ往々今日ノ實際ニ喙ヲ容レ手ヲ出サントスルノ情ナキニ非ズ去リトテハ我日本ヲ始メトシテ諸外國ノ政策ハ根底ヨリ顚倒セザルヲ得ズ外交利害ノ關スル所實ニ小々ナラザルナリ殊ニ我日本國ガ最モ此利害ヲ感スルノ深キハ明治十五年大院君ノ亂ニ支那政府ヨリ突然朝鮮ニ出兵シテ大院君ヲ執ヘテ歸リ亂後モ其兵ヲ京城ニ駐在セシメテ朝鮮ノ內治ニ干涉スル其最中ニ日本政府ハ在京城ノ公使館ヲ自衛スルタメニ兵ヲ送リタルコトナレバ日本兵ト支那兵ト其駐在ノ趣意ハ全ク異ナレドモ兵ノ京城內ニ屯スルノ狀ハ相同シ支那政府ハ朝鮮ヲ屬邦視シテ出兵シ、日本政府ハ之ヲ獨立視シテ出兵シタリトアレバ支那ト日本ト其交際ハ齊ニ異ナラズトスルモ朝鮮ニ對スルノ一事丈ケハ全ク相反對スルモノニシテ兩政府ノ主義相反スレバ其政府ヨリ派出セラレタル兵士ノ思想モ自カラ相反ス可キハ勢ニ於テ免カル可カラズ假令ヒ公然タル敵對ノ實ヲ呈セザルモ兩國ノ兵ガ京城內ニ相和シテ弟ノ如ク兄ノ如ク相互ニ親睦ナランヲスルハ到底望ム可ラザルコトナリ左レバ去年十二月ノ變亂ニモ樣々ノ原因アルコトナランド雖ドモ日支兩國ノ兵ガ平生ノ親睦冥々ノ間ニ厚カラザリシモ其原因中ノ一ナラン兼テ政府ノ御目鏡ヲ以テ此至難至難ノ朝鮮事務ニ當ル可キ人物ナリトテ人撰ニ人撰シテ信任セラレタル竹添公使其人トシテ遂ニ災難ヲ免カルヽヲ得ズシテ日本國ニ大損害ヲ被リタリ畢竟スルニ人ノ罪ニ非ズ勢ノ然ラシメタルモノトイフモ申ス可キ歟

故ニ今度若シ竹添公使ガ再ビ赴任セズシテ新任公使ヲ命ズルコトナラバ近時文明ノ主義ニ明ニシテ萬國交際ノ事情ニ通シタル人物ヲ撰擇シ文事ニ活潑ニシテ怠ルコトナカル可キハ無論又コノ上ニモ所望ト申スハ他國駐在ノ公使ト違ヒ朝鮮ニハ公館ノ護衛兵アリテ此兵ハ公使ノ命令ニ從ヒ運動スルノ約束ニシテ此點ヨリ觀レバ在京城日本ノ公使ハ文職ニ兼ルニ武職ヲ以テスル者ナルガ故ニ其人ヲ得ルコト最モ易カラザル可シ文人ハ平生柔順ニシテ至極眞實ナルガ如クナレドモマサカノ時ニハ文弱ニシテ事ヲ誤リ、武人ハ萬一ノ變ニ當リテ甚ダ頼母シケレドモ平生武骨ニシテ亦事ヲ誤ルコトアル可シ文質彬[illegible]今[illegible]國ニ派遣セラレタル我公使ノ員ハ少ナカラズ何レモ皆大切ナル職掌ニシテ在英ハ在英ニシテ大切ナリ、在米ハ在米ニシテ大切ナリ英ニモ米ニモ佛ニモ露ニモ皆其人ヲ得テ各其職分ヲ盡シ政府ニ於テモ定メテ遺憾ナキコトナランド雖ドモ獨リ朝鮮ニ限リテハ三四年以來別ニ難事アルコト他諸國ニ異ナルガ故ニ特ニ特別ノ難事ニ處スルニ特別ノ人ヲ得ンコト冀望ニ堪ヘズ公使ノ任ハ其赴任ノ國ノ大小強弱ニ由テ輕重アルニ非ズ其交際事務ノ繁緩ト自國ニ關係スル利害ノ大小トニ從テ難易アリトノ旨ハ我輩ノ自カラ信ジテ疑ハザル所ナリ

雜報

○御宴會御見合　一昨十一日は紀元節よて聖上よは宮中よ於て御宴會を開かせ給ふ筈ありしが少しく御風邪の氣味にて御見合となり同日參拜の親王、大臣、參議、勅任官、麝香間祇候等へは宮中よて御祝酒を賜はり各奏任官は該廳よて同しく御祝酒を賜はりさるよし

○伊藤伯　同伯は熱海温泉よ赴くやのよしは前號よ記載せしが同伯よは去る十日箱根よ出張したり右は同所よ建築すべき離宮の巡視よて滯在は一週間の定めある由

○出張被免　福岡參議外一名及び同參議の秘書官曲木氏ゟ去る十日左の通仰渡されたり

御用有之高知縣へ出張被仰付置候處被免候事　參議子爵　福岡孝弟

參議子爵福岡孝弟隨行被仰付置候處被免候事　秘書官　曲木如長

○歸京　鐵道工事巡視の爲め甲斐よ出張せし井上工部大輔は昨十二日宇都宮より歸京せり

○フート公使　在韓米國公使フート氏は一昨十一日午前十一時四十分横濱發の汽車にて出京し其前日より該港へ赴き居たりし本邦駐在の該國公使も同時ゟ歸京なしたり尤もフート氏は米國公使館へ滯在の由

○官廳實報　中島文部大書記官は文部省會計局長を江木文部權少書記官は文部省會計局副長を孰れも去る十日發せられ同日久保田文部權大書記官は文部省會計主務仰付られたり○內務少書記官小野田元熙內務權少書記官槇本胖三郎、仝武內維積、仝畠山重明の諸氏は此程內務省に於て警官服務全書取調委員仰付られたり○林誠一、栗屋泰明の兩檢事は去る十日司法省に於て東京始審裁判所詰を命せられたり

○地理巡見　東京鎭臺參謀長乃木大佐は近々執行せべき陸海軍れ對抗運動地理實見の爲め昨十二日相州地方へ出發あしたるよし

○文部省　文部少書記官伊澤修二氏外十六名は去る九日同大書記官中島永元氏外二名は去る十日文部省よ於く各左れ通仰付けられたり

文部少書記官　伊澤修二

（各通）

東京師範學校東京女子師範學校兼勤如故　文部省准奏任御用掛　水野忠雄

內記局勤務被仰付候事　文部權少書記官　安藤清人

文部省准奏任御用掛　大島三四郎

仝　千本福隆

仝　青木保

（各通）

學務一局兼務被仰付候事　文部權大書記官　伴正順

文部權少書記官　江木千之

（各通）

學務二局勤務被[illegible]　體操傳習[illegible]

學務二局兼勤被[illegible]

編輯局勤務被仰[illegible]

會計局勤務被仰[illegible]

報告局勤務被仰[illegible]

報告局兼學務一[illegible]

體操傳習所長被[illegible]

報告局長被仰付[illegible]

會計局長被仰付[illegible]

內記局勤務被仰[illegible]

學務一局勤務被[illegible]

東京教育博物[illegible]

○役員派出　第[illegible]事務を擴張あす[illegible]を派出せしむる[illegible]

○小銅貨　今度[illegible]に鑄造せしむ[illegible]

○金剛艦　同艦[illegible]へ入渠あしたる[illegible]

○英國軍艦來[illegible]の夜香港より[illegible]同港と拔錨を[illegible]

○東京近信[illegible]して本月二日[illegible]操きは目下東[illegible]まらそブリュ[illegible]到着するを待[illegible]着しさる二艘[illegible]又二艘の風帆[illegible]石炭を積來り[illegible]ものありと云[illegible]すとあれ共去[illegible]に見ゆ）に見[illegible]に沿道の城柴[illegible]不日郎松攻撃[illegible]

○佛兵れ不平[illegible]當地（香港）の[illegible]等が指揮官の[illegible]に困ひその事[illegible]儀を探らしめ[illegible]に此風說を近[illegible]中にて往々擔[illegible]さるならん左[illegible]ふれ其勇氣を[illegible]るもの少なく[illegible]平れ念を抱[illegible]

○台灣南部の[illegible]揭げしが尙又[illegible]一月）十七日[illegible]の支那新聞[illegible]れ儀人が之を[illegible]